コシヒカリ生育情報　第４号

令和４年７月１日
魚沼農業普及指導センター
電話：025-792-1309
FAX　：025-792-9006

中干しは小ヒビで終了！

早生品種では平年より２日程度出穂が早まる予想！

（６月 30 日現在）

【6 月 30 日生育状況】（３か所平均）

平均田植日	草丈(cm)		茎数（本/㎡）		葉数（葉）		葉色（SPAD）	
	本年	指標値比	本年	指標値比	本年	指標値差	本年	指標値差
５月 19 日	54	120%	549	114%	9.8	+0.1	41.2	+2.1

〇指標値比較【　草丈：長い　茎数：多い　葉数：並　葉色：濃い　】

・前回調査から草丈が急伸長しているので（１日あたり約２cm 程度）、今後の下位節間の伸長が懸念される。

・現在の葉色は指標値に比べて濃いが、今後は気温の高い日が続くと予想されており、葉色の急な低下に注意する。

【今後の管理のポイント】

１　小ヒビが入ったら中干し終了！

（１）大ヒビが入ったほ場では一度入水し、稲体活力を確保する。

（２）中干しは、出穂１か月前までには終了する（例：8/3 出穂→7/4 までには終了）。

（３）中干し終了後は、浅水の間断かん水から徐々に飽水管理へと移行する。

２　病害虫防除の徹底

（１）７月は平年に比べて曇りや雨の日が少ない予報だが、葉色の濃いところを中心に葉いもちの早期発見に努める。

（２）斑点米カメムシ類防除のため、農道・畦畔の草刈りや水田内雑草の除去を徹底する。

３　ケイ酸追肥

基肥にケイ酸を施用していない場合は、出穂40日前～１回目穂肥の時期に施用し、収量・品質の向上を図る。

出穂前日数	幼穂長（cm）
30日	0.02
23日	0.1
20日	0.2
18日	0.5～1.0
12日	4.0～6.0

図１　出穂前日数と幼穂長

【参考】各品種の出穂期予想と穂肥時期の目安（６月 30 日現在）

〇出穂期は全般に平年より「２日程度」早まる予想。分施体系の早生品種は１回目穂肥を遅れずに実施する。

品種名	幼穂形成期	予想出穂期	穂肥１回目		穂肥２回目		２回合計窒素量
			出穂前日数	施用時期	出穂前日数	施用時期	(kg/10a)
つきあかり	6/30	7/23	25～23	6/28～6/30	14	7/9	6
こしいぶき	6/30	7/24	23	7/1	14	7/10	2～3
こがねもち	7/8	7/31	18～15	7/13～7/17	10	7/21	1～3
コシヒカリ	7/11	8/3	18～15	7/16～7/19	10	7/24	1～3
いただき	7/15	8/7	25～23	7/13～7/15	14	7/24	6
あきだわら	7/19	8/11	25～23	7/17～7/19	14	7/28	6

※１　早生・多収性品種は、5/10～5/15、コシヒカリは、5/20～5/25植えを想定して予想

※２　気象条件により出穂期が前後する場合があるため、幼穂確認を行い出穂期を予想して穂肥を施用